

平成 19 年度第 2 回知床世界自然遺産地域連絡会議

議事概要

平成 20 年 3 月 26 日（水）13:00～14:30

羅臼町商工会館 2 階会議室

丘珠 中標津の飛行機が飛ばなかった関係で、大泰司委員長、道庁が欠席、森林管理局が終了直前に到着

1. 開会

2. 挨拶：釧路自然環境事務所長

3. 議事

議題 1：世界遺産委員会の調査団の調査結果について

環境省から説明

・質問・意見なし

議題 2：科学委員会・各 WG 経過及び今後の予定について

科学委員会、エゾシカ WG での検討状況について環境省から説明

（知床ガイド協議会）エゾシカの捕獲数が 150 頭ということだが、根拠はあるのか。

（環境省）越冬個体数をベースに考えている。年変動があるが、全体で概ね 600 頭。オスとメス、子供と成獣の割合を考えると、メスは 300 頭。メス成獣の半分ということ設定した。今後も越冬数の調査は続け、その結果を踏まえて捕獲数は微修正していく。

（知床ガイド協議会）150 頭を目標としていて、50 頭？しかとれていないということか。非常に効率の悪いやり方でやっていて、予算の無駄遣いという噂をきいた。現実的に効果のあるやり方でやってほしい。研究も同時にやっているようだが、減らすなら減らすということに集中した方がよい。事業と研究は分けてやってほしい。もっと現場の人間と協議してやっていただきたい。

（環境省）岬という実施が困難な場所で試行錯誤しながらやっているのが現状である。関係する方々の意見を聞きながら今後も続けていきたい。

（知床ガイド協議会）関係する方々というのをどう選定するかも地元にはわかるようにしてほしい。

（河川工作物 WG の検討状況報告は森林管理局の到着を待つため、後ほど説明）

海域 WG の検討状況について環境省から説明

・質問・意見なし

議事 3：平成 19 年度事業・調査結果について

環境省から説明

・質問・意見なし

議事 4：知床世界自然遺産地域管理計画について

環境省から説明

・質問・意見なし

議事 5：地域連絡会議等の今後の予定について

環境省から説明

(環境省) 特に地元向けの調査報告会について、地元からご意見があれば是非お願いしたい。

(環境省) 昨年の海域管理計画地元説明会に対する漁業者の感想を聞かせていただきたい。

(羅臼漁協) 漁業者としては海域管理計画の内容をきちんと説明してもらって、安心したと思う。

(知床ガイド協議会) 会議の検討時間が短く、急ぎ足での報告に終わっていると思う。前もって資料を配り、出席予定者からの質問をまとめ、それを中心に議論してはどうか。

(環境省) すべての資料を前もって揃えるのは困難だが、努力していきたい。

(知床ガイド協議会) 利用適正化検討会議で、「今後たき火についてはよく議論していく」としていたのに、途中の経緯がわからないまま、その次の会議ではたき火の記述ががらりと変わっていた。たき火についての自分の意見も議事録にきちんと残しておいてほしい。

(環境省) 議事録は残していきたい。会議も 1~2 時間と短いので、ご意見を踏まえて会議の進め方を検討していきたい。

議事 6：その他

遺産センターについて環境省から説明

(ウトロ地域協議会) 知床の玄関口としての機能を高めるために遺産センターができることはうれしい。1月の説明会でも意見があったと思うが、どういう情報を提供するかという点について、地元のイメージと違うという人が多い。例えば大きな写真を載せるということ。石見さんとの話にも通じるが、ほとんど意見を言える余地がないという雰囲気があり、残念である。一つ質問があるが、積極的にお客さんが遺産セ

ンターにくるようなアイデアを持っているのか。もう一つは意見であるが、質問とも関連するが、知床への観光客のほとんどがウトロに来るので、レクチャーをしたり、資料を見たりできるセンターにすべきである。

(環境省) 説明会に先立つ 12 月には 2 回ウトロ地域協議会とも協議し、大型写真を中心とした展示を行うことは了承を得たと理解していたので、ウトロ地域協議会からそのように言われるのは意外である。調整方法に問題はあったかもしれないが、説明会でも大きな異論はなく設計を進めてきているので現在の方針のままやっていきたい。うまく観光客を引きつけるという点については、道の駅とうまく連携したしかけを考えていきたい。情報提供についてはこれから地元の人と協議しながら検討していきたい。

(知床ガイド協議会) ルサの FH について、意見書で出したことは採用してもらっているようだが、管理体制についてはまだこれから協議してもらえということか。国交省は斜里、羅臼、小清水などを一体として観光を進めていくという話が進められている。関係機関が連携し、施設の連携や役割分担について明確にしてほしい。

(環境省) 管理体制についてはこれまでも地元説明会で説明してきている。繰り返しになるが、充実していきたいとは考えているが環境省もお金が十分ではないので、道や町にも協力をお願いしている。また、行政だけでも厳しいので地元の人にも協力していただきたい。環境省としても予算をとれるよう努力する。

(知床ガイド協議会) 地元としてもできることはしたいが、いろいろとこれは地元の人には任せられないと言われると結局何もできない。夏しか開館できない事態になる。

(環境省) 一般論としては地元の人に協力してほしいが、具体論となると行政的にいろいろと難しい点も出てくる。例えば、一つの事業者が占有するような形にはできない。今後も調整させていただきたい。

(環境省) 細かく意見を聞いてきたつもりだったが、十分ではなかったようだ。貴重なご意見として受け止める。他の行政機関との連携についても努力していきたい。

「資料 2 - 3 : 河川工作物ワーキンググループの経過報告」について、環境省から説明。
途中森林管理局が到着し、森林管理局から補足説明

・質問・意見なし

(環境省) 地元と連携してこそ遺産を適切に管理していけるものと考えている。より密接に連携をしていきたい。